2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社アイフリークモバイル　　上場取引所　東
コード番号　　3845　　ＵＲＬ　https://www.i-freek.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉田　邦臣
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　　（氏名）三宅　公崇　　ＴＥＬ　03-6274-8901
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	839	△12.6	△7	－	△5	－	8	△34.0
2026年３月期中間期	960	－	10	－	13	－	13	－

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	0.39	0.39
2026年３月期中間期	0.62	0.61

（注）2025年３月期中間期は連結業績を開示しておりましたが、2025年３月期第３四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2026年３月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	1,331	982	73.5
2026年３月期	1,367	972	70.8

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　978百万円　2026年３月期　968百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,670	△10.5	△11	－	△13	－	1	△97.7	0.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	22,246,741株	2026年３月期	22,239,641株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	－株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	22,241,076株	2026年３月期中間期	21,528,165株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年12月２日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間貸借対照表 …… 3
（２）中間損益計算書 …… 4
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 5
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（重要な後発事象） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や物価上昇の継続、金融政策の動向、自然災害の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、2026年９月11日開催の取締役会において、通信分野におけるサーバー、ストレージ機器及び各種ＩＴハードウェアの仕入・販売事業の開始及び同事業を推進する「フロンティアテック事業部」の新設を決議し、ＡＩ関連市場への事業展開に向けた第一段階として、新規事業を開始いたしました。

ＩＴエンジニア派遣・受託開発を中心とする領域においては、テスト領域等において稼働決定に時間を要したことなどから、期初からの稼働率の低下及び待機人員の増加が継続し、売上高及び収益性に影響を及ぼしました。このような中、営業活動の強化により稼働決定数の積み上げを図るとともに、配置転換、契約単価の改善及び商流の見直しに向けた取り組みを継続し、エンジニア一人当たりの収益性の向上に努めました。

成長領域と位置付ける生成ＡＩ分野においては、ＡＩ関連案件への参画を進めるとともに、資格取得支援や社内研修等を通じた専門人材の育成を推進いたしました。また、エンジニアのＡＩ活用スキルの向上を図り、顧客への提供価値及び契約単価の向上につなげる取り組みを進めております。

コンテンツ関連においては、大日本印刷株式会社と共同で制作した「えほんライトアニメシリーズ」第２弾として、当社が運営する子ども向け絵本専門YouTubeチャンネル「ポポキッズ」で人気の絵本６作品を日本語版・英語版の２言語で、2026年８月15日より「ｄアニメストア」等にて配信を開始いたしました。

これらの結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高839,471千円（前年同期比12.6%減）、営業損失7,227千円（前年同期は10,863千円の営業利益）、経常損失5,954千円（前年同期は13,572千円の経常利益）、中間純利益8,780千円（前年同期比34.0%減）となりました。

（注）製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

（２）当中間期の財政状態の概況

流動資産は、前事業年度末に比べて36,770千円（2.7%）減少し、1,323,057千円となりました。これは主として、現金及び預金が14,779千円、前払費用が1,838千円増加する一方、売掛金が25,260千円、未収消費税等が8,431千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて79千円（1.0%）減少し、8,086千円となりました。これは、有形固定資産が79千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前事業年度末に比べて36,849千円（2.7%）減少し、1,331,144千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて9,929千円（4.0%）減少し、241,070千円となりました。これは主として、未払消費税等が4,156千円増加する一方、買掛金が5,311千円、前受収益が3,403千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて36,779千円（25.5%）減少し、107,488千円となりました。これは主として、長期借入金が36,804千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前事業年度末に比べて46,708千円（11.8%）減少し、348,559千円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて9,859千円（1.0%）増加し、982,584千円となりました。これは主として、資本金が34,307千円減少した一方、資本剰余金が35,838千円増加したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月15日に公表しました通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,041,600	1,056,380
売掛金	270,489	245,229
仕掛品	1,049	－
未収入金	4,348	1,922
未収消費税等	8,431	－
未収還付法人税等	7,697	－
前払費用	14,152	15,991
立替金	8,881	1,567
その他	3,570	2,370
貸倒引当金	△393	△404
流動資産合計	1,359,827	1,323,057
固定資産		
有形固定資産	2,379	2,300
投資その他の資産	5,786	5,786
固定資産合計	8,166	8,086
資産合計	1,367,993	1,331,144
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,974	10,662
１年内返済予定の長期借入金	73,608	73,608
未払金	11,587	8,698
未払費用	98,600	97,781
未払配当金	595	－
未払法人税等	530	265
未払消費税等	15,478	19,635
未払事業所税	3,223	1,497
前受収益	3,451	48
預り金	27,952	28,874
流動負債合計	251,000	241,070
固定負債		
長期借入金	140,508	103,704
資産除去債務	3,759	3,784
固定負債合計	144,267	107,488
負債合計	395,268	348,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,073	10,765
資本剰余金	758,496	794,335
利益剰余金	165,096	173,876
株主資本合計	968,665	978,977
新株予約権	4,060	3,607
純資産合計	972,725	982,584
負債純資産合計	1,367,993	1,331,144

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	960,635	839,471
売上原価	716,588	647,606
売上総利益	244,047	191,864
販売費及び一般管理費	233,183	199,091
営業利益又は営業損失（△）	10,863	△7,227
営業外収益		
受取利息	933	1,658
助成金収入	1,400	－
受取補償金	2,328	－
その他	564	1,160
営業外収益合計	5,227	2,819
営業外費用		
支払利息	1,552	1,341
雑損失	964	－
その他	1	205
営業外費用合計	2,518	1,547
経常利益又は経常損失（△）	13,572	△5,954
特別利益		
投資有価証券売却益	－	15,000
特別利益合計	－	15,000
税引前中間純利益	13,572	9,045
法人税、住民税及び事業税	265	265
法人税等合計	265	265
中間純利益	13,307	8,780

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	13,572	9,045
助成金収入	△1,400	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△15,000
売上債権の増減額（△は増加）	60,621	25,260
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,171	1,049
立替金の増減額（△は増加）	1,511	7,313
未収消費税等の増減額（△は増加）	－	8,431
仕入債務の増減額（△は減少）	210	△5,311
未払金の増減額（△は減少）	△12,273	△321
未払費用の増減額（△は減少）	△18,406	△819
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,184	4,156
前受収益の増減額（△は減少）	8,046	△3,403
預り金の増減額（△は減少）	△5,287	922
その他	7,823	4,923
小計	47,061	36,247
助成金の受取額	1,400	－
法人税等の支払額	△7,962	△530
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,498	35,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106	△247
資産除去債務の履行による支出	－	△2,926
投資有価証券の売却による収入	－	15,000
敷金の回収による収入	－	2,571
利息及び配当金の受取額	933	1,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	827	16,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△36,804	△36,804
利息の支払額	△1,552	△1,269
新株予約権の行使による株式の発行による収入	69,300	1,079
その他	△555	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,388	△36,994
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	71,715	14,779
現金及び現金同等物の期首残高	1,003,616	1,041,600
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,075,331	1,056,380

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

「Ⅱ　当中間会計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

Ⅱ　当中間会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

当社は、ＤＸ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社は、従来「コンテンツ事業」及び「ＤＸ事業」の２つを報告セグメントとしておりましたが、当中間会計期間より両事業を「ＤＸ事業」へ統合し、単一セグメントに変更しております。

これは、事業間の連携を一層強化し、成長の加速及び収益性の向上を確実なものとするため、両事業を統合したことによるものであります。

この変更により、当社の報告セグメントは単一セグメントになることから、前中間会計期間及び当中間会計期間におけるセグメント情報の記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年６月25日開催の定時株主総会の決議に基づき、2026年７月１日付で減資の効力が発生し、資本金の額35,073千円及び資本準備金の額35,073千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

また、当中間会計期間において、第17回新株予約権の権利行使により新株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ765千円増加しております。

これらの結果、当中間会計期間末において、資本金が10,765千円、資本剰余金が794,335千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	1,075,331千円	1,056,380千円
現金及び現金同等物	1,075,331	1,056,380

（重要な後発事象）

該当事項はありません。